

平成27年度補正

株式会社 高木包装

事業計画名

関西圏でオンリーワンとなる大型段ボール箱の自動製造ライン構築



“face to face”で受注から納品まで ワンストップでオンリーワンを目指す

～事業の背景～

省資源化ニーズの獲得に向けて

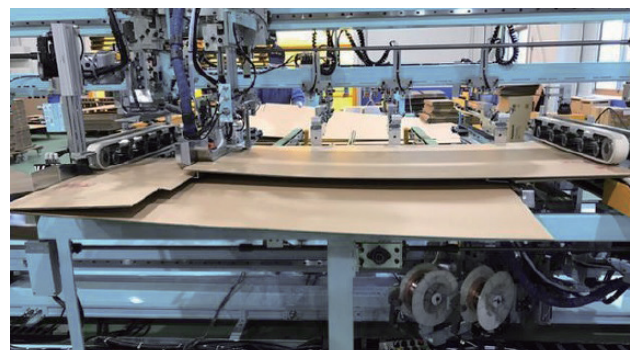
省資源化へと進んでいる今、100%リサイクルが可能な段ボールは95%以上が回収され、新しい段ボールへと生まれ変わっている。資源節約のため薄い段ボール(Eフルート)のニーズが増え、また、商品の輸送途中で内包物が金属ワイヤと擦れて表面に傷が付くリスクを避けるために「金属ワイヤ止め」より「グルア(糊付け)」の需要が増えてきた。しかし現在の機械ではEフルートの大型段ボールにおいて、自動製造が出来ない工程があり、大型段ボールの受注を増やすことができない状況が続いていた。



～事業の成果～

関西オンリーワンの製造ラインを確立

大型Eフルートへの対応が可能なプリンタースロットを導入したことで製造工程の自動化が実現。手作業によるグルア処理などの工程が一切無くなったことで、製函工程時間が短縮され、大型Eフルートの大量生産が可能となった。また、その工程にかかる従業員人数も従来の半数以下となり、人員配置の変更を行った結果、会社全体の残業時間を減らすことに成功した。その他、印刷用のインクを変更することで乾燥時間の必要がなくなり、製作時間が大幅に短縮。結果生産量増加につながることですべての受注が対応可能となった。



～株式会社高木包装の概要～

受注から納品まで全工程を自社で賄う力

創業以来65年以上、品質・納期第一を大切に、サイズは220mm×600mmから2000mm×3600mm、その他特注サイズなど、用途に合った厚みと形式、そして小ロットから大ロットまで、『心のかようパッケージづくり』を忘れることなく、包装文化が調和した豊かな社会を実現するため挑戦を続けている。受注、生産から納品まで自社で責任をもって遂行するため、全工程を自社内で完結し、納品も自社のトラック便を使用。企画においても、日本パッケージコンテストでパッケージデザイン賞や包装アイデア賞など、5年連続で入賞する高い技術と品質は、常に上を目指して日々精進している。



～段ボールの新しい市場開拓～

段ボールの特徴を活かした新たな商品を世に送り出す

包装・梱包資材としてしか取り扱われなかった段ボールは、その構造性から強度が高く、保温性にも優れている。その特色を活かし、東日本大震災以降は避難所で使用する段ボールベッドなどで災害時にも活用され、抗菌加工するなど用途にあわせて進化している。リサイクル率が高く、抗菌加工の施された段ボールはコロナ禍でも用途を変え、重宝さ

HACO BOUNO(ハコボーノ)

ありそうでなかった、組立簡単でコンパクトな抗菌ニス加工された段ボール製トレイ。ドリンクホルダー付きで飲み物とお皿を、各自が片手で持ち運びができる「ハコボーノ」は、イベントやBBQ、室内パーティー等で大いに存在感を発揮する。

また、ソーシャルディスタンスが必要な、これからの新しい生活スタイルをサポートする優れものであり、段ボール製のため、リサイクルしやすいエコな商品でもある。



れている。

当社でも包装開発課を立ち上げ、世の中に合った新しい商品開発に着手しはじめた。環境に優しく、軽量かつ丈夫であり、組み立て式で持ち運びが簡単な段ボールの新しい可能性を見出し、これからは時代に合った商品開発を目指していく。

Komoru-no(コモルーノ)シリーズ



◆コンパクト

コンパクトで持ち運び可能な組立て式パーティション。
A3サイズに収納が可能。



◆デスク

しっかりと目隠しができプライベート空間を保守。
自宅でも集中力アップできる。



◆プレミアム

軽くて便利な段ボール製折り畳みパーティション。作業スペースを確保しながらコミュニケーションもとれる優れもの。
レイアウトにあわせた連結が可能で、オフィスや食堂など様々なシーンで活用。

株式会社 高木包装

業種分類 パルプ・紙・紙加工品製造業

事業内容 段ボールケース製造販売 内装用美装ケース製造販売
段ボールパレット製造販売 アートデザイン製造販売

代表者名

代表取締役 高木 美香

所在地

奈良県葛城市萱74-2

連絡先

TEL：0745-65-1133 / FAX：0745-63-1111

ホームページ

http://www.takagi-hoso.co.jp/

E-MAIL

なし